

みなお通信

高崎市議会議員 高橋みなお



地域の皆さまと
共に歩みます

発行者 高橋みなお事務所
高崎市東貝沢町2-32-6
電話 027-363-2733

市民の目・市民の声を大切にしたい 「元気な「まち」の推進を！」

新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春をお迎えのことと存じます。

また、日頃より市政活動に對しまして温かいご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

昨年、「政権交代」という歴史的出来事により与野党逆転の結果、戦後初めて民主党内閣が誕生しました。

「脱官僚」や「事業仕分け」といった言葉が流行語に選ばれるなど、これほど国民の政治への関心が高まった年もなかったように思われます。

新年度予算編成に当たつ

て行われた、国民参画型事業仕分けは大きな関心を呼び、部分的な批判もありましたが、広く公開し支持を集めただけに、これを予算に

どれだけ反映できるかが、新政権の信頼度を左右するのではないのでしょうか。また、経済状況の面では、

景気は持ち直してきているが、依然として厳しい状況であることには変わりないと認識しております。

百年に一度の大不況は底を打ち、今後の回復への踊り場局面という見方もありますが、経済政策が不透明で、企業規模による景気見通しの大きな違いが、現状の経営環境の厳しさを反映

しているといえるでしょう。

景気回復のためには雇用対策が必要と考えている企業も多く、中長期的な政策と同時に消費拡大策などの景気対策をスピード感を持って打ち出していくことが求められているのではないのでしょうか。

本市においては、昨年六月一日に吉井町との合併により、人口三十七万人の都市が誕生しました。高崎総合医療センター(国高病院)の新棟が完成し、医療保健センター・新図書館の建設も順調に進んでいます。高崎駅東口駅舎改修やスマー

トインターチェンジ建設等都市整備基盤も大きく動き出しています。

産業・経済における都市の求心力を高め、群馬の玄関口としての都市の核づくりが必要な時期にきているといえるでしょう。

このような変革期こそ安心・安全な生活環境の整備、教育や福祉の充実等、身近な問題に汗を流し、市民主体のまちづくりを進めていきたいと考えております。

皆様と一緒に、同じ目線で地域を見つめ、声を届けられるよう、決意を新たに

しておりますので、本年も変わらぬご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。



「新高崎市で さらなる力の発展を」

後援会長 工藤 誠

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より高橋みなお後援会の活動にご理解とご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

昨年は吉井町と合併がなされ人口三十七万人を超える大きな新高崎市が誕生しました。今後も新高崎市のますますの発展と安全、安心で活力ある

まちづくりの実現に向けて美奈雄議員の柔軟な発想力、積極的な行動力をもって努力を重ねてほしいと願っております。

また後援会としても、皆様方の声に耳を傾け、気持ちを新たに活動していきたく思います。

精一杯努力して参りますので、温かいご指導、ご声援を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



松浦市政との協力を誓って



迎春

昨年も大変お世話になりました。ありがとうございます。新しい年の皆様のお幸せを心よりお祈り申し上げます。

平成二十二年初春

高橋みなお



12月定例議会報告

平成二十一年第七回市議会定例会は、十一月三十日から十二月十五日までの十六日間の会期で開かれました。

本定例会では、平成二十一年度高崎市一般会計補正予算、土地取得について（高崎経済大学附属高等学校第二グラウンド用地）などの審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問は、四日間行われ、高橋みなお議員は初日に登壇し、質問を行いました。以下概要を報告します。

「群馬デステイネーションキャンペーン」に対する本市の取り組みについて

質問 観光県群馬を推進し、地域活性化を図るため平成二十三年夏に実施される「群馬デステイネーションキャンペーン(DC)」は、国内最大規模の観光キャンペーンであるが、本市としてはどのように認識し、期待される効果は。

答弁 JRグループと地元自治体や観光関係事業者が一体となって実施し、全国からの強

力な誘客が期待できる。本市を全国に向けて発信する機会と捉え、観光を通じて継続的な地域振興が図れるよう取り組んでいきたい。

質問 旅行ニーズの变化も的確に捉え、対応していくことが必要と考える。観光資源の掘り起こしや人材育成など地域と方針を共有することが大切であるが、キャンペーンにおける本市の役割についての考えは。

答弁 交通の要衝である本市が群馬の玄関口として相応しい体制づくりに努めたい。体験

型観光への変化に伴い、魅力あるプログラム、情報的確な提供が重要であると認識している。

質問 「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録に向けたPRのチャンスとも言われているが、移動手段である二次交通の早急な整備は欠かせない。交通アクセスの視点から、

上信電鉄の高崎駅西口出口や高速バスの課題をどのように有機的に結びつけていくのか。

答弁 上信電鉄については、今後の都市観光の面からも重要と考えているが、乗り継ぎ状況が悪く、改善点が多いと認識し、関係協議会を設置し改善策を検討したい。

質問 駅東口開発の中で、高速バスターミナル整備を進めており、事業者間の連携について積極的に支援していくことが重要である。コンベンション機能の充実等を図り、観光都市につなげていきたい。

質問 現在策定中の高崎市観光振興計画の推

進にどのように反映されるか。

答弁 各地域や官民が一体となって取り組む観光振興策や方向性を示す指針として策定する。今後の更なる観光振興に結び付けたい。

質問 地域や市民との相互理解をいっそう深めた施策展開の中で、キャンペーンを一過性のものに終わらせずに成功させるために、実施形態の変化等に対する見解は。

答弁 地域一体、主導で取り組み、更に活性化していくとする姿勢が見られる。どのように

地域がキャンペーンに取り組む、その成果を地域振興に生かしていくかが重要と考える。

後記

全国的なインフルエンザの大流行により延期や中止になった学校行事、大会も多い一年でした。その日に向けて、一生懸命に努力を続けてきた子どもたちの気持ちを思うと残念です。そのような中で、音楽のバンドフェスティバルやマーチングコン

テストの全国大会において東部小学校・塚沢中学校が揃って優秀な成績を受賞し、観客に感動を与えてくれたことは、私たちに勇気と元気を与えてくれる明るいニュースであったと思います。

指導者、関係者に感謝するとともに練習時間や健康状態など、最高の環境とはいえない中で、の栄光に拍手をおくりたいものです。

さて、「みなお通信」もおかげさまで第40号をお届けすることができました。これからもわかりやすく、親しみをもっていただける情報紙を目指して頑張りたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

歩行者信号機設置で安全な通学路に



十二月十八日通学路の安全を願い、後藤かつみ県議協力のもと、地元区長さんと高崎警察署へ要望しました。年度内には設置になる見込みです。

(高商人口交差点)

市政相談連絡先

☎370-0041

高崎市東貝沢町二丁目32-6

TEL&FAX:027-363-2733

E-mail:minao.t@jcom.home.ne.jp